



## 第14回薄膜基礎講座 — 基礎からしっかり学べる薄膜 —

21世紀は「薄膜」の時代です。2000年度のノーベル物理学賞「半導体ヘテロ構造・シリコン集積回路」にはじまり、2007年度の「巨大磁気抵抗効果」、2009年度の「CCDセンサ」、そして今年の「グラフェン」は記憶に新しいところですが、まさに「薄膜」が主役を演じています。これに象徴されるように身近な存在の薄膜は、じつは世紀の大発見・大発明の舞台でもあるのです。

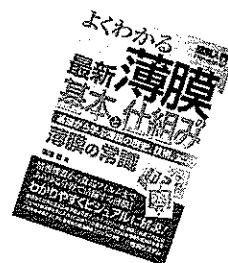
薄膜関連の科学技術は日々、急速なペースで進歩を遂げています。そのおかげで新しい機能をもつ薄膜たちがつぎつぎに誕生しています。多様化がいつそう進む時代にあつて、薄膜の研究・開発に携わるうえでは、その製法と性質のポイントをしっかりとつかんでおくことが大切です。

(社)日本表面科学会の薄膜基礎講座(第14回)では、実例やデモ実験を交えながら「薄膜のすべて」を分かりやすく解説します。入門編として薄膜をあつかうベースを短期で形成したい方に最適です。あるいは薄膜分野の研究者・技術者・大学院生のブラッシュアップコースとして。

### プログラム 第14回薄膜基礎講座 (11月14日・15日、東京理科大学 森戸記念館)

月日	時間	講義題目		講師
11月 14日 (月)	9:40-10:40	製膜と 加工	薄膜とは何か? 薄膜がもたらしたもの	深津 晋 (東京大学)
	10:50-11:50		薄膜は作るのか、できるのか?	深津 晋
	11:50-12:40	(昼食)		
	12:40-13:40	分析・ 評価と 診断法	薄膜を評価するということ	中村友二 (富士通研)
	13:50-14:50		「表面分析ツール」こそは適材適所	中村友二
	15:00-16:00		形成過程をとらえる、特性をとらえる	中村友二
	16:10-17:00		質問・相談コーナー	深津 晋・中村友二
11月 15日 (火)	9:00-10:00	機能の 設計と 制御	薄膜だけができる、薄膜だからできる	深津 晋
	10:10-11:10		機能を設計するということ	中村友二
	11:20-12:20		何事もまずかたちより入れ?	中村友二
	12:20-13:10	(昼食)		
	13:10-14:10	薄膜	薄膜の研究・開発の最新事情	中村友二
	14:20-15:20	最前線	環境・エネルギーは薄膜から	深津 晋
	15:30-16:20		質問・相談コーナー	深津 晋・中村友二

本基礎講座では、『よくわかる薄膜の基本と仕組み』(深津 晋 著、秀和システム 1,575 円)をもとに講義を進めます。当日、簡単な資料を配付しますが、あらかじめ本書を各自お買い求めのうえ、ご持参くださるようお願いいたします。



1. 日時 平成 23 年 11 月 14 日(月)、15 日(火)

会場へのアクセスマップ

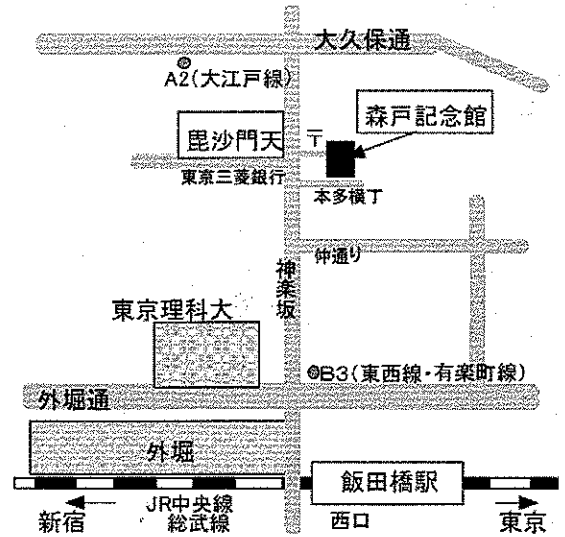
2. 会場 東京理科大学 森戸記念館  
第一フォーラム  
東京都新宿区神楽坂 4-2-2  
電話 (03) 5225-1033

3. 参加定員 80 名 (定員に達し次第〆切ります)

4. 受講料

申込資格	受講料
表面科学会 正会員	18,000円
表面科学会 維持会員	18,000円
表面科学会 賛助会員	23,000円
表面科学会 学生会員	3,000円
協賛学会会員	28,000円
学生 (非会員)	5,000円
その他	33,000円

(当日配布の資料代、消費税を含みます)



(JR「飯田橋」西口、地下鉄東西線・有楽町線・南北線「飯田橋」B3出口、大江戸線「牛込神楽坂」A2出口)

5. 申込締切：平成 23 年 11 月 7 日 (月)

6. 申込方法 表面科学会ウェブサイト [www.sssj.org](http://www.sssj.org) にてオンラインでお申し込みください。  
(電子メール、ファクスまたはハガキをご利用の場合は、以下の情報をそえて事務局あてお申し込み下さい。)

- (1) 「第14回 薄膜基礎講座」
- (2) 氏名 (ふりがな)
- (3) 連絡先 (所属団体、所在地、電子メール(\*), 電話、ファクス)
- (4) 申込資格 (上記の受講料表の区分、所属学協会名)

\*表面科学会が主催するセミナー・講演会などのご案内に使用させて頂く場合がございます。ご案内が不要の方は「案内不要」の旨、お申し出下さい。

(社)日本表面科学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-40-13 本郷コーポレーション402

電話: (03) 3812-0266 FAX: (03) 3812-2897 電子メール: shomu@sssj.org

7. 払込方法
- (1) 申し込みを受け付け次第、振込用紙をお送りします。  
受講者一名につきかならず一枚の振込用紙をご使用下さい。
  - (2) 振込用紙の半券をもって領収書に替えさせていただきます。
  - (3) 勝手ながら受講料の払い戻しは行いません。ご都合が悪くなった際は、代理の方の受講をお願いします。

協賛学協会：	日本物理学会	応用物理学会	日本トライボロジー学会	日本金属学会
(交渉中含む)	電子情報通信学会	日本顕微鏡学会	電気化学会	表面技術協会
	粉体工学会	日本材料学会	電気学会	日本材料科学会
	日本機械学会	日本真空協会	日本セラミックス協会	高分子学会
	日本油化学会	日本分析化学会	軽金属学会	触媒学会
	日本質量分析学会	粉体粉末冶金協会	日本分光学会	化学工学会

